



宮城県登米市・体験コンテンツのご紹介

2026年1月
食農体験ネットワーク登米協議会
(有限会社伊豆沼農産)

1. 宮城県登米市の紹介

登米市は岩手県との県境に位置しています。
農業遺産・鳴子温泉がある大崎市、栗駒山の紅葉が有名な栗原市、震災遺構がある南三陸町に隣接した町です。首都圏からのアクセスも便利です。

<交通手段>

① J R 東北新幹線

- ・ 東京駅～くりこま高原駅 約2時間
- ・ 仙台駅～くりこま高原駅 約25分

② J R 東北本線

- ・ 仙台駅～新田駅 約1時間15分

③ 高速道路

- ・ 東北自動車道
川口JCT～仙台宮城～築館 約5時間
- ・ 三陸自動車道
仙台港北～登米IC 約60分



1. 宮城県登米市の紹介

- 登米市は西部が丘陵地帯、東北部が山間地帯で、その間は広大で平坦肥沃な登米耕土を形成しています。
- マンガの王様と評される石ノ森章太郎氏の故郷であること。また、みやぎの明治村と称される登米町は、明治時代に建造された高等尋常小学校等が現存し、レトロな街並みを楽しむことができます。
- 市西部に位置する「**伊豆沼・内沼**」は、ラムサール条約の登録湿地として、1985年に本州で初指定されました。東北最大の低地湖沼で、夏のハス群生、冬に飛来する渡り鳥の数は日本一とされています。



資源循環型農業の先進地



和牛・豚の生産は東北有数



教育資料館（国の重要文化財）



石ノ森章太郎ふるさと記念館



沼一面を彩るハスの群生



はすまつり時は遊覧船が運航



渡り鳥に選ばれた聖地「伊豆沼・内沼」



珠玉のバードエクスペリエンス

2. 会社概要

会社名	有限会社伊豆沼農産（住所：宮城県登米市迫町新田字前沼149-7）
創業	1988年10月1日（法人化1989年5月1日）
従業員	40名
事業内容	農業（養豚、水稻、果樹）、食肉製品製造業、食肉処理業、惣菜製造業、菓子製造業、アイスクリーム製造業、酒類製造業（濁酒）、飲食業、地域農産品の販売、通信販売 他
主力商品	伊豆沼ハム（SUFFA・IFFA金賞受賞）、伊達の純粹赤豚（登録商標）
経営理念	人と自然へのやさしさを求めて・・・ 「農業を食業に変える」 を原点に、精いっぱい地域の人と自然の恵みに感謝します。
近年の受賞歴	2021年 地産地消等優良活動表彰 食品産業部門 農林水産大臣賞 2023年 東北ニュービジネス大賞 2024年 豊かなむらづくり表彰事業 東北農政局長賞

※2017年 地域資源を魅力ある農泊体験コンテンツとして磨き上げるため、**食農体験ネットワーク登米協議会**を設立（構成員：登米市、株式会社ブランド総合研究所、有限会社伊豆沼農産）

3. 伊豆沼農産について（生産・製造・販売部門）



香港への輸出実績がある伊達の純粋赤豚



6品種500本のブルーベリーを栽培する農園



農薬・化学肥料を控えた米作り



国際コンテスト金賞の伊豆沼ハムシリーズ



地元の特産品が買える直売マーケット



出店ではジェラート、総菜、飲み物を販売

3. 伊豆沼農産について（レストラン）

宮城ブランド「伊達の純粹赤豚」をはじめ、国際コンテストで金賞を受賞したハム・ソーセージ、郷土料理を贅沢に味わえます。

- 営業時間 11:00～21:00（L.O 20:00） ※平日15:00～16:30までクローズ
- 車いす用スロープ有、身障者用トイレ有、盲導犬、介助犬との入店可・添乗員/運転手様向けのメニュー有
- 団体向けメニューは3パターンをご用意していますが、予算に応じたご提案も可能です。



レストラン外観（車イス入店可）



ホールは最大80席。仕切対応可



ベジタリアン・アレルギー対応可



夜はコースメニューもあります



外にはバーベキューデッキ有
（20名以上は農園で実施）



団体メニュー①
赤豚と地元農家野菜の御膳



団体メニュー②
ハンバーグセット



団体メニュー③
郷土料理・ヒレカツ御膳

3. 伊豆沼農産について（誘客部門）



手作りウインナー体験（5～50人）



ブルーベリースムース作り（10～30人）



手作りピザ体験（10～30人）



宿泊施設（一棟貸し・定員9名）の運営

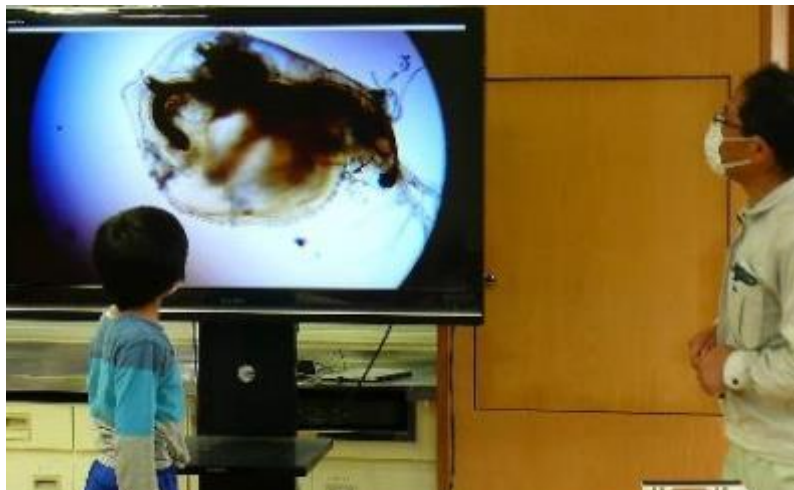


キャンプスペースの運営

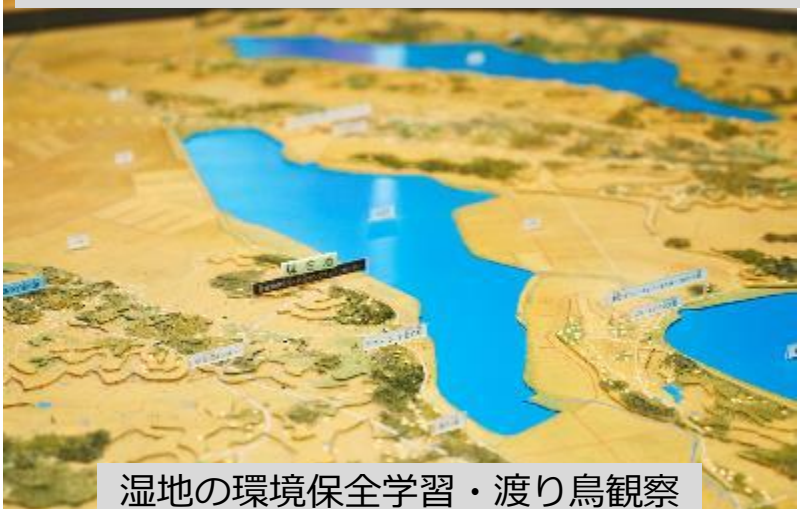


バーベキュー会場の提供

3. 伊豆沼農産について（食育・環境教育）



無農薬・無肥料栽培ふゆみずたんぼ（※）をフィールドにした食育、環境教育の様子（田植え、生きもの調査、稲刈り&オンライン学習）
この圃場は、民間の取組によって生物多様性の保全が図られている場所として、2025年に環境省・自然共生サイトに認定された。



湿地の環境保全学習・渡り鳥観察



工場見学・職場体験



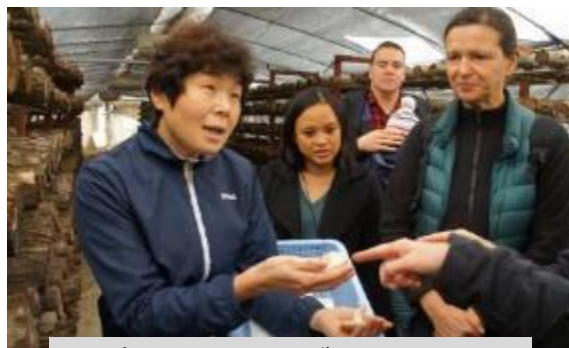
登米市・環境教育施設の指定管理

※冬期も水田に水をはる農法。水を貯めておくことで、稲株やワラなどの有機物が分解されて微生物や藻が発生し、生物の営みが豊かな水田になると言われている。

3. 伊豆沼農産について（地域一体となった受入体制）



農業・生活体験



生産者とつながるBBQ体験



究極のいちご大福作り



しめ縄体験



郷土料理体験（漬物）



郷土料理体験（はっと汁）



郷土芸能体験



農家民泊（日帰りも可）



風土フットパス（地域散策）



バードウォッチング





伊豆沼・内沼クリーン活動





伊豆沼 漁師体験

4. 提供できるアクティビティ

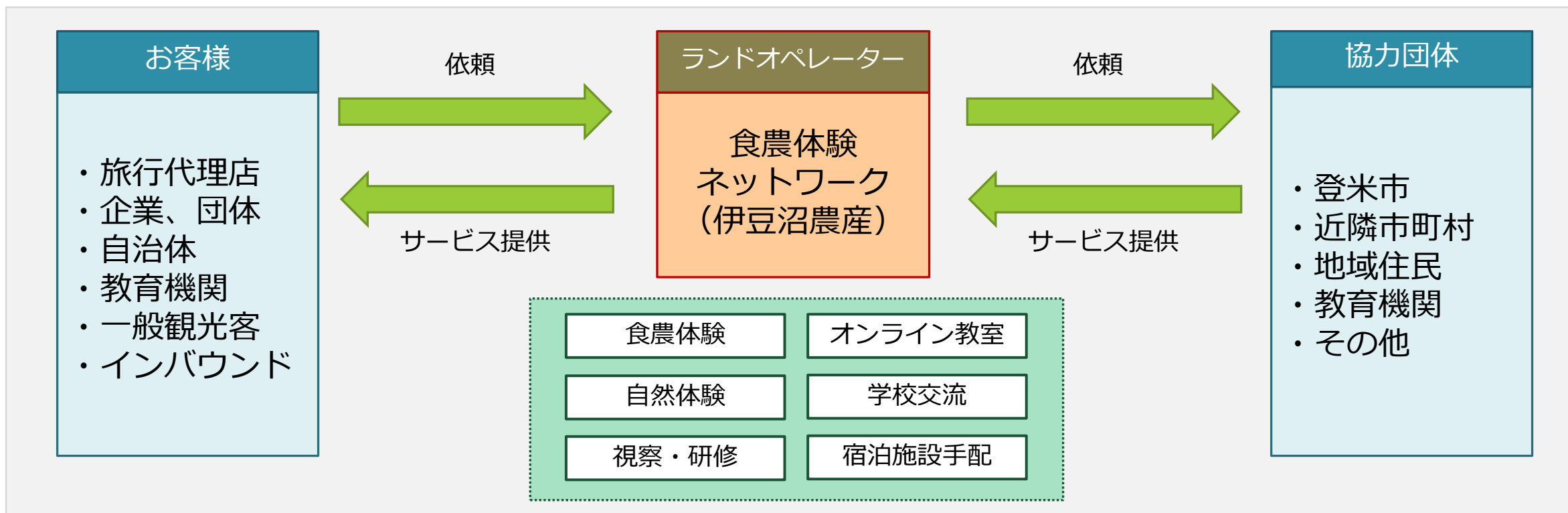
カテゴリ	概要	備考
<p>調理体験</p> 	<p>地元食材をつかった調理体験です。料理を作る楽しさを知るきっかけにするとともに、国産農畜産物、地域の食文化に対する理解を深めてもらうことを目的としています。</p> <p>【プログラム例】 手づくりウインナー、ピザ、ブルーベリームース、豚まん、いちご大福、郷土料理（はっと料理・保存食など）</p>	<p>①所要時間：1時間～ ②定員：5名～50名 ③価格：2,500円/人～</p> <p>【観光以外の活用事例】 ◎教育旅行 ◎福祉厚生 ◎お取引先様向けのイベント</p>
<p>農業体験</p> 	<p>野菜の植え付けや収穫、田植えや稲刈り等の体験を通じて日頃農業と親しむ機会の少ない消費者と、生産者の交流を深め、農業への理解を深めることを目的としています。</p> <p>【プログラム例】 田植え、除草、稲刈り、野菜・果樹栽培に関連する体験（例：原木シイタケ、レンコンなどの根菜類、葉物野菜、ブルーベリー、など）</p>	<p>①所要時間：1時間～ ②定員：5名～50名 ③価格：2,200円/人～</p> <p>【観光以外の活用事例】 ◎教育旅行 ◎地域貢献 ◎メンタルヘルスケア</p>

4. 提供できるアクティビティ

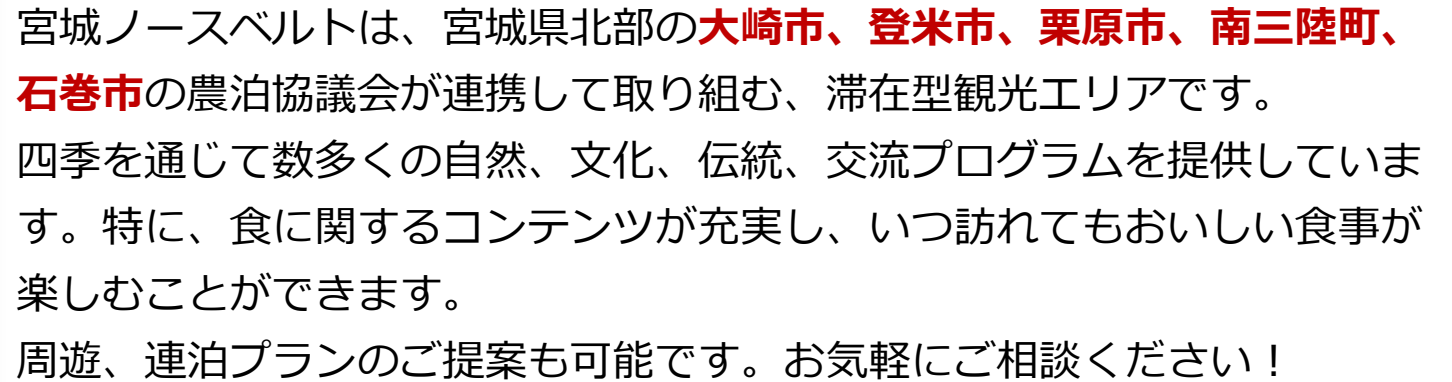
カテゴリ	概要	備考
<p>自然体験</p> 	<p>動植物の観察や環境保全活動を通じてラムサール条約登録湿地「伊豆沼・内沼」の現状を学び、人と自然の共生を考えることを目的としています。</p> <p>【プログラム例】 風土フットパス、ハスのお花見、渡り鳥の飛び立ち・ねぐら入り観察、漁師体験、環境保全活動、生きもの観察、座学</p>	<p>①所要時間：1時間～ ②定員：5名～50名 ③価格：2,200円/人～</p> <p>【観光以外の活用事例】 ◎教育旅行 ◎地域貢献 ◎SDG s 活動</p>
<p>伝統芸能・行事体験</p> 	<p>地域で長く受け継がれてきた芸能や祭り、伝統行事などに関する体験プログラムです。地域が大切にしてきた「つくる」「食べる」「感謝する」というテーマを体験を通して学ぶことを目的としています。</p> <p>【プログラム例】 柳生心眼流兵法（宮城県指定無形文化財）、佐沼鹿踊り（登米市指定無形民俗文化財）、餅つき・行事食体験</p>	<p>①所要時間：1時間～ ②定員：5名～50名 ③価格：4,400円/人～</p> <p>【観光以外の活用事例】 ◎教育旅行 ◎視察研修</p>

5. 伊豆沼農産の特徴

- 一般観光地では企画しにくい、自然・農業・食をテーマにしたストーリー性のあるプログラムを提案します。
- 見る、聞くだけではない、体験的な要素も加え、地元ガイドが農村の魅力を楽しく分かりやすく伝えます。
- ツアーを催行される場合、当社が地域のコンシェルジュとなり、事前調整から終了までのコーディネート窓口1本で対応いたします。【旅行サービス手配業（宮城県知事登録第27号・令和3年4月8日登録）】



- 通訳について：英語でガイドできるスタッフがあります。ご相談ください。



～山から染み出た水の恵みが、大地を潤し、川となって海にむかう～



Nature (自然)

四季の彩りと心の癒し

7. 春（4～6月）、秋（9～11月）のモデルコース

受入人数の目安：10～40名

午前の部

～10：00	伊豆沼農産 到着
10：00～11：30	農業体験（シイタケ栽培等）
11：30～12：10	郷土料理はっと作り体験 （他の調理体験に代替可）
12：10～12：50	昼食（伊豆沼農産・レストラン）
12：50～13：10	買い物（伊豆沼農産・直売所）
13：10～13：30	車移動

- 他の農業体験：露地野菜、水耕栽培、りんご収穫
- 他の調理体験：ウインナー、ピザ、豚まん、いちご大福（春限定）
- インバウンドには餅つき、かまど炊飯体験も人気です。

午後の部

13：30～15：30	みやぎの明治村見学 （コース例：森舞台～教育資料館～春蘭亭）
15：30～15：50	休憩・買い物（遠山の里）
15：50～	出発



農業体験イメージ



シイタケ栽培見学



旬野菜を使った郷土料理体験



作ったスープは昼食会場に持込可



昼食メニュー例



直売マーケット



森舞台



教育資料館



春蘭亭 喫茶例

- 英語の通訳ガイド、明治村見学時の観光ガイドをつけることも可能です（有料）。ご相談ください。

8. 夏 (7~8月) のモデルコース

受入人数の目安：10~20名

午前の部

～10：00	伊豆沼 遊覧船乗り場 到着
10：00～10：30	伊豆沼のハス鑑賞
10：30～10：40	徒歩移動
10：50～11：50	手作りブルーベリームース体験 (他の調理体験に代替可)
12：00～12：50	昼食 (伊豆沼農産・レストラン) 食後に作ったムースを試食
12：50～13：10	買い物 (伊豆沼農産・直売所)
13：10～13：30	車移動

- 他の調理体験：ウインナー、ピザ体験、郷土料理はっと
- 昼食は農園でのバーベキューに変更することも可能です。

午後の部

13：30～15：00	ミニ畳作り体験
15：10～	出発

- ハスの群生数、遊覧船の運行状況は天候等により変動します。お問合せください。
- 英語の通訳ガイドをつけることも可能です (有料)。ご相談ください。



駐車場から徒歩で船着き場へ



遊覧船に乗ってハス鑑賞



花は午前中が見頃です



ブルーベリー摘取は7月中旬まで



ムース調理イメージ



レストランメニュー例



ミニ畳作り



オリジナルの柄が選べます



体験後は作品とお茶で一服

9. 秋冬（10月下旬～12月上旬）のモデルコース

受入人数の目安：10～40名

【1日目】

13：00	伊豆沼農産 到着
13：00～13：40	昼食（伊豆沼農産・レストラン）
13：40～14：00	買い物（伊豆沼農産・直売所）
14：00～14：20	車移動
14：20～15：20	宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター施設見学
15：20～15：40	車移動
15：40～16：40	渡り鳥のねぐら入り観察
16：40～	宿泊施設へ



昼食イメージ



宮城県サンクチュアリセンター



研究員による湿地と鳥の生態解説



田んぼに飛来する渡り鳥



渡り鳥のねぐら入り観察



地元ガイドによる解説も魅力

【2日目】

5：00～5：30	伊豆沼観察スポット 到着
5：40～6：40	渡り鳥の飛び立ち観察
6：40～	宿泊施設へ（オプションとして、伊豆沼農産で朝食を用意することも可能です）



日の出と同時に観察がスタート



10万羽を超える渡り鳥の飛び立ち



オプション・朝食イメージ

- 渡り鳥の観察時間は、日の入り、日の出時間によって変動します。
- 屋外での観察はかなり冷え込みます。徹底した防寒対策が必要です。

教育旅行・視察研修 インバウンド受入事例

10. 教育旅行・視察研修プランの例

1. 稲作栽培をテーマにしたプラン

(現地学習の受入可能時期：5月～9月)

- ・事前学習：生物多様性と登米市の農業について
- ・現地学習：農業体験、生きもの調査
- ・事後学習：生物多様性と農業を持続可能にするため、自分たちができること検討会

2. ラムサール条約と渡り鳥をテーマにしたプラン

(現地学習の受入可能時期：10月～1月)

- ・事前学習：伊豆沼・内沼、渡り鳥の概要
- ・現地学習：渡り鳥の飛び立ち、ねぐら入り観察
サウナセンター見学、環境保全活動
- ・事後学習：日本一の渡り鳥飛来地の今後について、自分たちができること検討会

3. 地域資源の付加価値化をテーマにしたプラン

(現地学習の受入可能時期：通年)

- ・事前学習：農業の6次産業化、地域づくりの概要
- ・現地学習：施設見学、地域住民が主役になる体験
- ・事後学習：持続可能な農村産業をつくるため、自分たちができること検討会

地域全体をフィールドに①知識習得・思考する、②見る・触れる・感じる、③つくる・行動する、④関係性を構築する、⑤達成・成果を出す、といった5つの要素をパッケージ化。ご要望に応じたプランを提案します。

＜こんな方におすすめ＞

- ・日本の農業、文化、住民との交流、体験に関心がある
- ・環境保全、ネイチャーポジティブの現場を知りたい
- ・農業の付加価値化や地方創生を学びたい



各学習はオンラインでの配信が可能。現地の学校交流（小・中・高校）についてもご相談ください。



伊豆沼・内沼周辺には、鳥・淡水魚・昆虫をテーマにした展示施設があります。
また、清掃活動やガイド付きアクティビティ（自然・農業・食体験）が豊富です。
宿泊場所は市内の農家民泊、簡易宿所のほか、栗原市、南三陸町などの施設紹介が可能です。

1 1. 受入実績（アメリカ・高校生20名）

登米市・栗原市の連携受入

1日目

～15：30	伊豆沼農産 到着
15：30～18：00	オリエンテーション・夕食



夕食（団体・コースメニューあり）



学校交流（授業参観）



学校交流（部活動体験）

2日目

10：00～13：00	学校交流①（施設見学・調理体験）
14：00～17：00	学校交流②（授業参観・部活体験）
18：00～	夕食



栗原市内の宿泊施設



食事・共有スペース



シングルルーム

3日目

9：00～10：00	環境学習（伊豆沼サウナ・リセンター）
10：30～13：00	郷土料理体験・昼食
13：30～15：30	ものづくり体験（ミニ畳）
16：30～18：30	農園バーベキュー



環境学習施設



郷土料理体験



ミニ畳づくり

※16日間の日本滞在のうち、宮城県を行程に入れた理由は、学校交流と地域の暮らしぶり体験、近隣市町村の連携提案ができるエリアだから。

12. 受入実績（アメリカ・高校生20名）

登米市・南三陸町の連携受入

1日目

～16：00	いりやど 到着
17：00～19：00	オリエンテーション・夕食

2日目

10：30～12：00	ものづくり体験（ミニ畳）
12：30～15：00	学校交流①（施設見学・調理体験）
15：30～17：00	学校交流②（授業参観・部活体験）
18：00～	夕食

3日目

10：00～11：30	震災学習・施設見学
11：30～13：00	郷土料理体験・昼食
13：30～15：00	古民家見学、まゆ細工体験
15：30～17：30	散策・オクトパス色付け体験
18：00～	夕食



いりやどアネックス



あたたかみのある施設



ミーティングルームも完備



海の食材を使った夕・朝食



登米市内の高校



英語教員による学校紹介



南三陸復興記念公園



蕎麦打ち体験



オクトパス色付け体験

※登米市では農業、食文化、学校交流。南三陸町では震災学習、ものづくり、住民交流の体験を提供。

1 3. 受入実績（中国・高校生30名）

登米市内での受入

1日目

～10：30	登米町公民館 到着
11：00～12：30	郷土料理体験・昼食
13：00～14：00	教育資料館見学
14：30～15：30	木工体験
16：30～17：30	伊豆沼で渡り鳥観察
18：00～	夕食



郷土料理体験



教育資料館



地元ガイドによる解説

2日目

10：00～11：00	植樹体験
12：00～13：00	昼食
13：30～15：30	学校交流（授業参観・生徒交流）
16：00～	松島へ移動



木工体験（ペンスタンド）



渡り鳥観察



夕食イメージ



栗原市内の高校



授業参観（書道）



授業参観（化学）

※7日間の日本滞在のうち、宮城県を行程に入れた理由は、学校交流と環境保全活動、地域の暮らしぶり体験ができるエリアだから。

14. 受入実績（中国・大学生・30名）

登米市・栗原市・仙台市の連携受入

1日目

～12：00	伊豆沼農産 到着
12：00～12：50	昼食
13：00～15：00	ミニ畳作り体験
15：30～16：00	入村式
16：30～	民泊体験（登米市・栗原市）



体験、入離村式 会場



ミニ畳作り体験



民泊体験

2日目

9：00～9：30	離村式
10：30～12：00	環境学習（栗駒山麓ジオパーク）
12：00～13：00	昼食
13：30～15：30	環境学習（伊豆沼サウナ1アレンター）
15：30～	仙台の宿泊施設へ移動



栗駒山麓ジオパーク



昼食イメージ



環境学習施設

3日目

9：00～9：30	宮城大学施設見学
10：30～12：00	学術交流・植樹活動
12：00～	松島へ移動



宮城大学 大和キャンパス



学術交流



記念植樹

※仙台市にある大学交流の調整、隣接市町村と連携した受入（民泊体験、環境保全学習）が評価された。

15. 受入実績（台湾・小学生25名）

登米市内での受入

1日目

～16：00	伊豆沼農産レストラン到着
16：00～17：00	施設見学・夕食（しゃぶしゃぶ）
17：00～	登米市内の宿泊施設へ移動



登米市立新田小学校



歓迎式



記念品交換

2日目

～9：00	登米市立新田小学校 到着
9：00～9：30	歓迎会
9：30～10：00	縦割り交流（自己紹介、ゲームなど）
10：00～12：00	施設見学・授業参観
12：00～13：00	給食体験
13：00～13：20	伊豆沼農産へ移動
13：30～15：30	渡り鳥のモビール制作
16：00～17：30	郷土料理体験
17：30～	仙台の宿泊施設へ移動



授業参観



授業参観



給食体験



渡り鳥のモビール制作



郷土料理体験



郷土料理体験

※教育旅行は高校生が多いが、台湾では小中学校の来日ニーズも高まっている。幅広い学校交流を調整・提案できるのが当エリアの強み。

16. 受入実績（海外・一般）

登米市・栗原市・大崎市・南三陸町の連携受入

欧米豪団体ツアー（10～20名・日帰り・5～10月）

8：30	岩手県（平泉）の宿泊施設を出発
9：30～10：50	ミニ畳作り体験
11：10～11：40	伊豆沼・環境保全施設の見学
12：00～13：20	餅つき・郷土料理体験、昼食
13：30～	鳴子温泉の宿泊施設へ出発



ミニ畳作り体験



餅つき・郷土料理体験



昼食（3種の餅、特製スープ）

シンガポール団体ツアー（50名・日帰り・9月）

8：00	南三陸町の宿泊施設を出発
9：00～10：00	伊豆沼で遊覧船体験
10：10～15：00	登米市内の日帰り民泊体験
15：30～	仙台の宿泊施設へ出発



伊豆沼遊覧船体験



民泊体験（牛舎見学）



民泊体験（茶道・能舞台見学）

フィリピン教育機関団体ツアー（30名・日帰り・5月）

9：30	登米市内の宿泊施設を出発
10：00～12：00	登米市内の教育施設見学
12：00～13：00	伊豆沼農産で昼食
14：00～16：00	南三陸町で震災語り部ツアー
16：00～	仙台市の宿泊施設へ出発



市内小中学校の施設・授業見学



昼食（香草ステーキセット）



南三陸町語り部ツアー

17. 近隣の宿泊施設、学校交流先の例

種別	概要
民泊・教育旅行	登米市、栗原市、南三陸町、大崎市の各エリアで1回あたり10～40名の受入が目安
簡易宿所	<p>①登米市 5軒 ②栗原市 6軒</p> <p><合宿・学生旅行にオススメの施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登米市：長沼クラブハウス 7室（和室29名/室＋二段ベット6） 最大77名 ・栗原市：伊豆沼ウェットランド交流館 9室（和室6＋二段ベット3） 最大47名 ・南三陸町：さんさん館 10室（和室3室＋洋室7室） 最大32名 ・大崎市：公園の中の宿 ロマン館 和室12室 最大48名
ホテル	<p>①登米市：ルートイン登米 212室、サンシャイン佐沼 23室、サンフレックス 32室、望遠閣 13室</p> <p>②栗原市：エポカ 45室、グランドプラザ浦島 25室、アネックスホテルアベ 32室</p> <p>③南三陸町：ホテル観洋 244室、いりやど 30室</p> <p>④大崎市：鳴子観光ホテル 102室、ホテルオニコウベ 109室</p>
学校交流	<p>①登米市：佐沼高校、登米高校、登米総合産業高等学校</p> <p>②栗原市：築館高校、迫桜高校、一迫商業高校、岩ヶ崎高校</p>

お問い合わせ先

**本資料でご紹介した内容・金額等は、資料作成時点の情報です。
受入時期等により情報が変わる場合があります。**

目的・ご予算に応じたカスタマイズも可能です。
以下の担当者にお気軽にお問い合わせください。

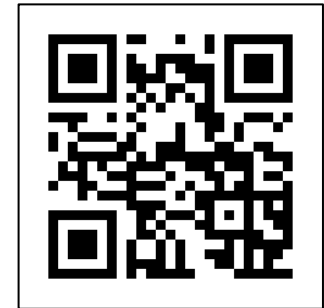
会社名：有限会社伊豆沼農産

担当：佐藤裕美（Hiromi Sato）

E-mail：hiromi@izunuma.co.jp

〒989-4601 宮城県登米市迫町新田字前沼149-7

電話：0220-28-2986 FAX：0220-28-2987



ホームページ